

平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成27年8月7日
東

上場会社名 塩水港精糖株式会社 上場取引所
 コード番号 2112 URL <http://www.ensuiko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山下 裕司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理グループ長 (氏名) 酒井 英喜 (TEL) 03-3249-2381
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	7,152	4.5	204	31.5	241	22.1	163	23.9
27年3月期第1四半期	6,844	△3.3	155	△16.4	197	13.1	131	36.3

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 670百万円(293.6%) 27年3月期第1四半期 170百万円(△7.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	6.03	—
27年3月期第1四半期	4.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	24,699	7,420	30.0
27年3月期	24,824	6,885	27.7

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 7,420百万円 27年3月期 6,885百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,800	△2.7	240	△24.2	250	△27.2	170	△26.8	6.27
通期	26,000	△1.2	590	3.1	590	1.5	390	22.7	14.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	35,000,000株	27年3月期	35,000,000株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	7,890,604株	27年3月期	7,890,584株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	27,109,409株	27年3月期1Q	26,859,926株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の各種政策や日銀の金融緩和の効果により企業収益や雇用環境の改善がすすみ、個人消費にも持ち直しの兆しがみられ、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

一方、砂糖業界におきましては、砂糖消費量の漸減傾向が続き、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは基幹事業である砂糖事業（国内精糖及びその他糖類）並びにバイオ事業における売上高・利益計画の達成に向けて全力で取り組んで参りました結果、当期の業績及びセグメントごとの業績は以下のとおりとなりました。

① 砂糖事業

海外原糖市況は、ニューヨーク市場粗糖先物相場（当限、1ポンド当たり）において12.00セントで始まり、ブラジルでの天候懸念を背景に堅調な推移を続け、5月中旬には13.60セントの高値をつけました。その後、世界的な需給の緩みやドル高レアル安の進行等により下げ基調に転じ、6月下旬には11.10セントの安値をつけましたが、投機筋の買戻し等により回復し、12.28セントで当期を終了しました。

国内市中価格（日本経済新聞掲載、上白糖大袋1kg当たり）は、期初185～186円で始まり、同水準のまま当期を終了しました。

国内精糖及び異性化糖などの国内販売は、主に大手飲料ユーザー向けが順調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、当期における砂糖事業全体の売上高は6,579百万円（前年同期比4.0%増）、セグメント利益は418百万円（前年同期比11.3%増）となりました。

② バイオ事業

オリゴ糖事業は、主要量販店等への販売促進活動に加え、メディアを中心にした『腸内フローラ』特集等による好影響を受け、「オリゴのおかげ」の販売数量は好調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

サイクロデキストリン事業は、食品分野のほか、非食品分野への拡販に努めましたが、売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、当期におけるバイオ事業全体の売上高は407百万円（前年同期比17.0%増）、セグメント利益は39百万円（前年同期比11.0%減）となりました。

③ 不動産賃貸事業

関西製糖株式会社への大阪工場設備の賃貸及びニューE S Rビル事務所の一部賃貸等を行い、所有不動産の活用にも努めました結果、不動産賃貸事業の売上高は195百万円（前年同期比2.4%減）、セグメント利益は16百万円（前年同期比329.2%増）となりました。

以上の結果、当期の売上高は7,152百万円（前年同期比4.5%増）、営業利益は204百万円（前年同期比31.5%増）、経常利益は241百万円（前年同期比22.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は163百万円（前年同期比23.9%増）となりました。

研究開発につきましては、抗がん剤の副作用を大幅に軽減し得る「がんミサイル療法」の共同研究を継続し、バイオプラスチックの原料となり得る「グルカル酸」の安価な製造法の開発に取り組みました。また、「米粉を原料とした乳化機能を有する食品素材」の開発につきましては、生産技術の確立に努めました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べて125百万円減少し、24,699百万円となりました。

これは主に、現金及び預金539百万円の減少、原材料及び貯蔵品146百万円の減少等によるものであります。

負債合計は前連結会計年度末に比べて659百万円の減少し、17,279百万円となりました。

これは主に、短期借入金が2,900百万円減少した一方で、長期借入金が2,550百万円増加したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて534百万円増加し、7,420百万円となりました。

これは主に、その他有価証券評価差額金が532百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結会計期間の業績は概ね当初予定通りに推移しており、第2四半期連結累計期間及び通期の業績につきましても、現時点では、平成27年5月8日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替を行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,477	938
受取手形及び売掛金	1,640	1,914
商品及び製品	1,107	1,083
仕掛品	293	140
原材料及び貯蔵品	768	622
繰延税金資産	71	64
その他	1,138	1,163
流動資産合計	6,497	5,926
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,752	9,762
減価償却累計額	△5,572	△5,641
建物及び構築物(純額)	4,179	4,121
機械装置及び運搬具	11,212	11,240
減価償却累計額	△9,675	△9,746
機械装置及び運搬具(純額)	1,537	1,493
工具、器具及び備品	431	415
減価償却累計額	△363	△333
工具、器具及び備品(純額)	68	82
土地	5,234	5,234
建設仮勘定	13	17
有形固定資産合計	11,034	10,949
無形固定資産		
ソフトウェア	31	25
その他	6	6
無形固定資産合計	38	32
投資その他の資産		
投資有価証券	5,106	5,900
長期貸付金	1,391	1,400
繰延税金資産	684	414
その他	72	75
投資その他の資産合計	7,254	7,791
固定資産合計	18,327	18,772
資産合計	24,824	24,699

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	633	656
短期借入金	8,780	5,880
1年内返済予定の長期借入金	2,494	2,320
未払法人税等	16	45
未払消費税等	234	224
賞与引当金	80	39
その他	1,056	937
流動負債合計	13,295	10,104
固定負債		
長期借入金	3,399	5,949
退職給付に係る負債	927	895
その他	316	330
固定負債合計	4,643	7,174
負債合計	17,938	17,279
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,750	1,750
資本剰余金	241	241
利益剰余金	8,027	8,055
自己株式	△3,021	△3,021
株主資本合計	6,997	7,025
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△187	344
繰延ヘッジ損益	12	△12
退職給付に係る調整累計額	63	62
その他の包括利益累計額合計	△111	394
純資産合計	6,885	7,420
負債純資産合計	24,824	24,699

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	6,844	7,152
売上原価	5,787	6,021
売上総利益	1,057	1,131
販売費及び一般管理費	902	927
営業利益	155	204
営業外収益		
受取利息	9	9
受取配当金	55	61
持分法による投資利益	5	9
その他	4	2
営業外収益合計	74	82
営業外費用		
支払利息	28	25
支払手数料	1	18
その他	2	0
営業外費用合計	32	45
経常利益	197	241
特別利益		
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	—	0
税金等調整前四半期純利益	197	241
法人税、住民税及び事業税	6	49
法人税等調整額	59	28
法人税等合計	65	78
四半期純利益	131	163
親会社株主に帰属する四半期純利益	131	163

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	131	163
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	48	545
繰延ヘッジ損益	0	△24
退職給付に係る調整額	△0	△1
持分法適用会社に対する持分相当額	△9	△12
その他の包括利益合計	38	506
四半期包括利益	170	670
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	170	670

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	砂糖事業	バイオ事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,319	333	191	6,844	—	6,844
セグメント間の内部売上 高又は振替高	5	15	8	28	△28	—
計	6,324	348	200	6,873	△28	6,844
セグメント利益	376	44	3	424	△269	155

(注) 1 セグメント利益の調整額△269百万円には、セグメント間取引消去△3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△265百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	砂糖事業	バイオ事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,574	391	187	7,152	—	7,152
セグメント間の内部売上 高又は振替高	5	16	8	30	△30	—
計	6,579	407	195	7,182	△30	7,152
セグメント利益	418	39	16	474	△270	204

(注) 1 セグメント利益の調整額△270百万円には、セグメント間取引消去△3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△267百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。